

戦後日本の安保 転換

敵基地攻撃能力保有 防衛費1.5倍

3文書決定

首相、増税時期「来年に決定」



岸田政権は15日、閣議決定を実施した。この中の3文書が、敵基地攻撃能力（反撃能力）を「反撃能力」とする方針を示すもの。日本の防衛費を現行の約1・5倍に引き上げる方針も示された。海上自衛隊は、これまでのところとした戦略を本の防衛政策は、大きな進歩の一歩になら。

熟議・説明なし 将来に禍根

岸田政権が大筋決

定めた。これがわざわざ、敵基地攻撃の範囲を拡大する。新戦略の大筋だけではなく、進む方

が将来の警戒を強めなければならない。

日本の防衛費は現在世界第

位だが、2022年年度はロシア

や米軍を抜き、米軍は次ぐ世

界で2位の可能性が高い。新

戦略は、米軍に並んで「軍事

と経済を統合する」ことを

目指すが、日本の防衛費は

「東洋大陸」でまだこのか。

敵基地攻撃は既にじつ

に存在する防衛政策の命

運であるが、中国や北朝鮮

の「東洋大陸化」に対応する

ための防衛費を増やす

佐藤 武嗣 編集委員（外交・安全保障担当）

。文部省、外務省、防衛省など、防衛費を増やす方針を示す「国防改修計画」（現・中期防衛力整備計画）で構成され、2023年度から5年間の防衛費は現額約43兆円。22年度の防衛費は8兆9千億円程度

。文部省、外務省、防衛省など、防衛費を増やす方針を示す「国防改修計画」（現・中期防衛力整備計画）で構成され、2023年度から5年間の防衛費は現額約43兆円。22年度の防衛費は8兆9千億円程度

。中国は「これまでにない最大の戦略的な挑戦」、北朝鮮は「從前よりも一層嚴重かつ複雑化された脅威」、ロシアは「安全保障上の最大の戦略的脅威」、北朝鮮は「從前よりも一層複雑化された脅威」、日本は「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を確立した。相手の領域内を直撃攻撃する「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を保有するため、防衛費を根本的に増加させた。米国製巡航ミサイル「トマホーク」など導入され、無人機などを活用した「無人アサート防衛能力」の構築。サイバー攻撃を未然に防ぎ、被害拡大を防止するため、「能動的サイバー防御」を導入。条件付きで武器輸出を認める防衛装備移転三原則の見直しを検討

2023年度から5年間の防衛費は現額約43兆円。22年度の防衛費は8兆9千億円程度

。環境のたた中にある」と述べた。重大な打撃の狙った韓國、ロシアは「安寧保障上に損害を及ぼさず」必報級小艇の「懸念」を位置づけた。相手の領域内を直撃攻撃する「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を保有するため、防衛費を根本的に増加させた。米国製巡航ミサイル「トマホーク」など導入され、無人機などを活用した「無人アサート防衛能力」の構築。サイバー攻撃を未然に防ぎ、被害拡大を防止するため、「能動的サイバー防御」を導入。条件付きで武器輸出を認める防衛装備移転三原則の見直しを検討

。中国は「これまでにない最大の戦略的な挑戦」、北朝鮮は「從前よりも一層嚴重かつ複雑化された脅威」、日本は「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を確立した。相手の領域内を直撃攻撃する「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を保有するため、防衛費を根本的に増加させた。米国製巡航ミサイル「トマホーク」など導入され、無人機などを活用した「無人アサート防衛能力」の構築。サイバー攻撃を未然に防ぎ、被害拡大を防止するため、「能動的サイバー防御」を導入。条件付きで武器輸出を認める防衛装備移転三原則の見直しを検討

。中国は「これまでにない最大の戦略的な挑戦」、北朝鮮は「從前よりも一層嚴重かつ複雑化された脅威」、日本は「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を確立した。相手の領域内を直撃攻撃する「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を保有するため、防衛費を根本的に増加させた。米国製巡航ミサイル「トマホーク」など導入され、無人機などを活用した「無人アサート防衛能力」の構築。サイバー攻撃を未然に防ぎ、被害拡大を防止するため、「能動的サイバー防御」を導入。条件付きで武器輸出を認める防衛装備移転三原則の見直しを検討